

# 平成18年度学校保健統計調査結果 (秋田県分)

平成19年6月  
秋田県学術国際部調査統計課

## 1. 調査の概要

### 1. 調査の目的

小学校、中学校、高等学校及び幼稚園の児童、生徒及び幼児の発育状態及び健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 調査事項

- (1) 児童、生徒及び幼児の発育状態(身長、体重及び座高)
- (2) 児童、生徒及び幼児の健康状態(栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果)

### 3. 調査の対象

国・公・私立の小学校、中学校、高等学校及び幼稚園のうち調査実施校に指定された学校に在籍する児童、生徒及び幼児(発育状態調査は一部抽出された数)である。

| 区分   | 調査実施校数 | 発育状態調査         |         |                 | 健康状態調査                  |
|------|--------|----------------|---------|-----------------|-------------------------|
|      |        | 1調査実施校当たりの対象者数 | 調査対象者   | 調査対象者抽出率        |                         |
| 小学校  | 58校    | 96人            | 5,568人  | 全児童数の9.4%       | 調査実施校における<br>当該年齢の全児童生徒 |
| 中学校  | 38校    | 120人           | 4,560人  | 全生徒数の14.1%      |                         |
| 高等学校 | 26校    | 90人            | 2,340人  | " 7.1%          |                         |
| 幼稚園  | 30園    | 44人            | 1,320人  | 5歳在園児の<br>35.0% |                         |
| 計    | 152    |                | 13,788人 |                 |                         |

注) 1 「調査実施校数」は、文部科学省の定める方法で抽出された調査指定校の数である。

2 幼稚園の調査対象者は5歳児のみである。また、高等学校の18歳以上の生徒及び通信制の在学生徒は調査対象から除いている。(年齢は平成18年4月1日現在の満年齢によっている。)

### 4. 調査の時期

平成18年4月から6月までの間に各学校が実施した学校保健法による健康診断の結果に基づき調査した。

### 5. 利用上の注意

(1) 今回の数値は、文部科学省生涯学習政策局調査企画課から公表されている確定値を取りまとめたものである。

(「平成18年度学校保健統計調査」参照。HP掲載 [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/001/index03.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/index03.htm))

(2) 統計表中の符号について

- 「 」 計数が負数の場合。
- 「0.00」 計数が単位未満の場合。
- 「-」 該当者がいない場合。
- 「…」 調査対象とならなかった場合。

問い合わせ先： 秋田県学術国際部調査統計課  
人口・教育統計班  
電話：018-860-1258  
FAX：018-860-1252  
美の国秋田ネット」統計情報ホームページ  
<http://www.pref.akita.lg.jp/tokei/>

## ．調査結果の概要

### 1．発育状態調査（表 - 1 ～ 表 - 5）

#### （1）身長

本県の児童、生徒及び幼児の平均身長を年齢別に全国平均と比較した場合、男女ともすべての年齢において全国平均を上回っている。（図-1、図-2、表-2）

全国順位で見ると、男女ともほとんどの年齢で全国の上位に位置している。

各年齢間の身長差が最も大きいのは、男子が11歳と12歳の間で8.0cm、女子が9歳と10歳の間で7.3cmとなっている。女子の17歳平均身長は16歳の平均身長を下回っている。（表-1）

また、10歳と11歳の女子の身長は、同年齢の男子の身長を上回っている。

#### （2）体重

体重については、男女ともすべての年齢において全国平均を上回っている。（図-1、図-2、表-2）

全国順位で見ると、男女ともほとんどの年齢で全国の上位に位置している。

各年齢間の体重差が最も大きいのは、男子が11歳と12歳の間で6.8kg、女子が11歳と12歳の間で5.3kgである。女子の17歳平均体重は16歳の平均体重を下回っている。

（表-1）

#### （3）座高

座高については、男女ともすべての年齢において全国平均を上回っている。（表-2）

全国順位で見ると、男女ともほとんどの年齢で全国の上位に位置している。

各年齢間の座高差が最も大きいのは、男子は身長・体重と同様11歳と12歳の間で4.2cm、女子は9歳と10歳の間で3.5cmである。

また、10歳から12歳の女子の座高は、同年齢の男子の座高を上回っている。（表-1）

なお、身長から座高を引いた足の長さについて全国平均と比較した場合、14歳の女子（全国平均と同値）を除き、男女ともすべての年齢において全国平均を上回っている。

#### （4）30年前（昭和51年度）との比較

平成18年度の体格を30年前の昭和51年度（親の世代）の体格と比較してみると、身長、体重については、いずれの年齢においても平成18年度の数値が上回っている。（表-3）

30年前との差が大きいのは、男子については、身長では中学校1、2年時（12歳～13歳）、体重では中学、高校時（12歳～17歳）であり、身長、体重とも12歳（身長差5.8cm、体重差7.1kg）において最も大きくなっている。女子については、身長では小学校5年（10歳）から中学校2年時（13歳）、体重では小学校4年（9歳）から中学校2年時（13歳）の差が大きく、身長、体重とも13歳（身長差3.4cm、体重差3.6kg）において最も大きくなっている。

## 2. 健康状態調査（表 - 6 ~ 表 - 11）

### （1）裸眼視力

裸眼視力1.0未満（両眼又は片眼）の者の割合は、小学校で男女合わせて37.4%となっており、全国平均を上回っている。前年度数値との比較では、4.2ポイント増加している。男女とも年齢が進むにつれて高くなる傾向にある。（表-6~9）

10年前（平成8年度）と比較すると、小学校の裸眼視力1.0未満の割合は、4.6ポイント増加している。（図-3）

なお、幼稚園、中学校及び高等学校の裸眼視力1.0未満の者の割合の秋田県分については、本年度は公表されていない。

（注）疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満または回答校が1校以下の場合は、統計数字が公表されない。

### （2）むし歯（う歯）

調査した疾病・異常のうち最も被患率が高かったむし歯（う歯）の被患率（処置完了者を含む）は、男女合わせて、幼稚園で67.6%、小学校で78.1%、中学校で73.7%、高等学校で82.3%となっている。小学校を除く学校段階で、前年度の被患率を下回ったものの、全国との比較では、全国平均を上回っている。

年齢別にみると、17歳が86.4%と最も高くなっている。

また、むし歯の処置完了者の割合は、すべての学校段階で全国平均を上回っている。未処置歯のある者の割合もすべての学校段階で全国平均を大きく上回っている。（表-6~8、表-10）

10年前（平成8年度）と比較すると、むし歯（う歯）の被患率は、いずれの学校段階においても低下している。（図-4）

### （3）ぜん息

ぜん息の者の割合は、男女合わせて幼稚園で3.3%、小学校で5.0%、中学校で2.7%、高等学校で1.2%となっており、全国との比較では、幼稚園及び小学校で全国平均を上回っている。

年齢別にみると6歳が5.6%と最も高くなっている。（表-6~8、表-11）

20年前（昭和61年度）及び10年前（平成8年度）と今回の数値を比較すると、すべての学校段階において、その割合は上昇している。（図-5）

## 3. 肥満傾向児、痩身傾向児の出現率（表 - 12、表 - 13）

### （1）肥満傾向児

肥満傾向児の出現率は、11歳の女子を除き、男女ともすべての年齢において全国平均を上回っている。

年齢別にみると、男子は15歳（21.91%）、女子は9歳（15.44%）で最も高くなっている。（表-12）

（注）肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100 (\%)$$

### （2）痩身傾向児

痩身傾向児の出現率は、6歳男子、9歳男子、6歳女子、8歳女子、12歳女子及び17歳女子で全国平均を上回っている。（表-13）

（注）痩身傾向児とは、肥満度が20%以下の者である。